

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（平成26年3月13日実施）

1 生息数及び構成比

単位：羽

種類	羽数	構成比：%	備考
ガン類	13,757	23.1	3月調査の中では過去4番目
ハクチョウ類	4,827	8.1	3月調査の中では過去13番目
カモ類	41,020	68.8	3月調査の中では過去3番目
計	59,604	100.0	3月調査の中では過去3番目

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
平成26年3月13日	13,757	4,827	41,020	59,604
平成25年3月7日	70,186	6,948	41,742	118,876
増減	▲ 56,429	▲ 2,121	▲ 722	▲ 59,272

3 主な確認地

(1) ガン類

			昨年の羽数
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	9,042 羽	30,882
化女沼	(大崎市)	1,983 羽	23,892
蕪栗沼	(大崎市田尻)	1,916 羽	11,087

(2) ハクチョウ類

直沢大溜池	(大和町)	1,157 羽	494
新岩出山大橋上流	(大崎市)	1,111 羽	1,330
鳴瀬川大橋地点	(加美町)	625 羽	1,650

(3) カモ類

化女沼	(大崎市)	10,025 羽	6,872
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	4,478 羽	5,107
南川ダム	(大和町)	2,217 羽	1,759

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地507か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会の会員等 98人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます（明日以降更新）。

HPアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/>

7 飛来状況

ガンカモ調査は、S44年度（S45年1月）から実施しているが、3月の調査はS47年度（S48年3月）から実施している。

寒波が厳しかった昨年に比べ、今年は全体として北へ帰っているといえるが、調査日近日の寒さの影響で多少残っているところもある。